

## 和歌山県立医科大学附属病院において 甲状腺疾患で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学内科学第一講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. **研究課題名** 甲状腺クリーゼ患者における血中サイトカインの意義の検討

2. **研究責任者** 和歌山県立医科大学内科学第一講座 助教 栗本千晶

3. **研究の目的** 甲状腺クリーゼとは、血中甲状腺ホルモン濃度が高い状態の方に感染や手術などの強いストレスが加わることで発症し、高熱、循環不全、ショック、意識障害などを来して生命の危険を伴う病態のことを言います。炎症性サイトカインが多量に血液中に放出されることで様々な臓器障害を生じると推測されていますが、希少疾患であるため実際の血中サイトカイン濃度については詳細なデータがないのが現状です。本研究は、甲状腺クリーゼにおける炎症性サイトカインの臨床的意義を明らかにし、今後の治療成績向上に役立てるために行います。

### 4. 研究の概要

#### (1) 対象となる患者さん

2018年4月1日から2022年3月31日までの期間中に、和歌山県立医科大学附属病院で甲状腺クリーゼまたはバセドウ病と診断された方。

#### (2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢、性別、併存する疾患、既往歴、甲状腺ホルモン値や肝機能、炎症反応の検査結果です。

#### (3) 方法

対象となる患者さんの診療記録より、背景因子（年齢、性別、併存する疾患、既往歴）、甲状腺ホルモン値や肝機能、炎症反応の情報を収集します。また、通常診療における血液検査で検査後に余り、追加検査の可能性を考え保存していた血清を用いて血中サイトカイン濃度を測定、甲状腺クリーゼ患者とバセドウ病患者間で比較検討を行います。

### 5. 個人情報の取扱い

利用する情報・試料と患者さんを特定できる個人情報の対応表を作成、匿名化番号を割り振り個人情報が分からない状態で研究を行います。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

### 6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対

象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

#### **7. 問い合わせ先**

郵便番号 641-8509 和歌山市紀三井寺811-1 和歌山県立医科大学内科学第一講座 栗本千晶

TEL : 073-447-2300 内線5212 FAX : 073--441-9436 E-mail : [chiakikr@wakayama-med.ac.jp](mailto:chiakikr@wakayama-med.ac.jp)